

ガイアホールディングス株式会社

第28回定時株主総会

2013年3月22日(金曜日)午後1時
星陵会館 ホール

注意事項

本資料には、2013年3月22日現在の当社及び当社グループの将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれておりますが、その性質上、国内外での経済動向・市場の需要・為替レート・税制等の制度変更といった潜在的リスクや不確定要素によって変動する可能性が存在します。当社は、このような情報内容を保証するものではなく、株主及び投資家の皆様がこのような情報を使用されたことより生ずるいかなる損害についても責任を負うものではありません。この資料に含まれている数値は単位未満切り捨て、比率は単位未満四捨五入にて表記しております。

議長

ガイアホールディングス株式会社
取締役社長

鈴木 智也

本総会における株主数・議決権個数

議決権を有する株主数 9,771名

その議決権個数 122,183個

監查報告

常勤監查役

根 本 忍

報告事項

ガイアホールディングス株式会社 第28期事業報告

1. 企業集団の現況

(1) 当事業年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果

当事業年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果

ガイアグループの使命



組み込み向けソフトウェア
研究開発・販売

ソフトウェアの力で



Anytime, Anywhere, on Everything

移動機器向けソフトウェア
研究開発・販売



アニメーション
企画・プロデュース・制作

世の中のあらゆる人々に



携帯端末向けゲームコンテンツ
企画・開発・配信・運営

幸せをもたらすこと



雑誌・単行本など出版物
企画、制作、編集及び販売



書籍、雑誌、その他印刷物及び
電子出版物のデータベースの
作成、保管

当事業年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果



■ 既存事業 : ソフトウェア基盤技術 コンテンツ・サービス

■ 新規事業 : M2M市場向け「半導体事業」へインテリジェントな通信モジュール/ICチップの提供

「総合エンターテインメント」へコミックやゲームを基盤にアニメ、小説、グッズ等の展開

優れた「ソフトウェア基盤技術」を中核とした新規事業展開へ

当事業年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果

ソフトウェア基盤技術事業



電子機器メーカーや通信事業者向けに
ソフトウェア基盤技術とコンサルティング等を提供

当事業年度の事業の状況

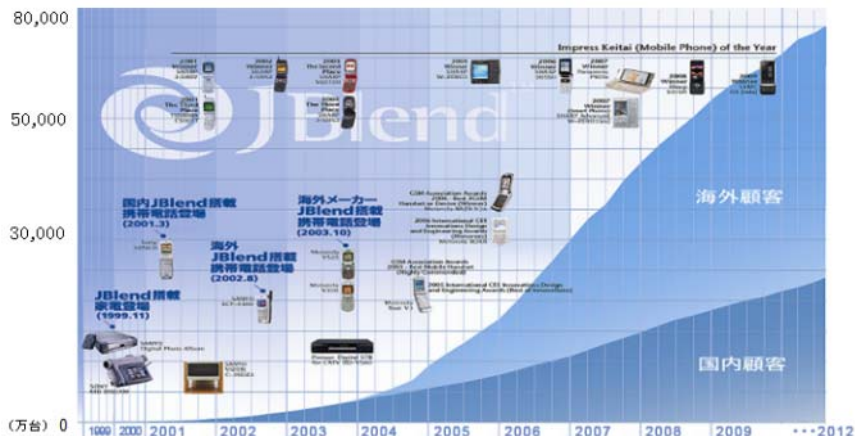
① 事業の経過及び成果

中核事業の主力製品



Java言語で作成されたアプリケーションを実行するためのソフトウェア基盤技術

【JBlend出荷台数】



世界中で約8億台(2012年末)の
携帯帯電話や
スマートフォンに搭載

当事業年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果

スマートフォン向けソリューション



スマートフォンの出荷台数が急速に拡大

スマートフォン向けのソリューションの開発

およびライセンス提供の開始

当事業年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果

ソフトウェア基盤技術の提供

- M2M市場向けソフトウェア基盤技術
「WirelessIDEA」の供給
- スマートグリッド向けソフトウェア基盤技術
「picoJBlend」の供給

当事業年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果

新しいソフトウェア基盤技術の提供開始

- あらゆる機器をワイヤレスでスマートフォンにつなぐことを可能にする量産用省スペース型通信モジュール「**Zeemote JM1**」の生産開始
- Bluetooth Low Energy規格対応の低消費電力型の超小型モジュール「**JM1L2**」を開発
- **コンシューマ用の機器メーカー向けに2013年度から供給を開始**

当事業年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果

スマートフォンがもたらすもの

家電製品等をスマートフォンにつなげることで、スマートフォンのUI、スマートフォン自体がもたらす機能、ネットからもたらされる機能など、スマートフォンがもたらすものは無限に広がる



UI

- グラフィックス
- 音/音声/音楽
- タッチ/タップ/フリック/ドラッグ
- カメラ入力(ジェスチャー)
- 加速度センサ/ショック
- ジャイロ
- 音声認識
- 手書き入力
- バイブレーション

センサーや機能

- 情報処理
- 情報処理記録・再生
- NFC/FeliCa
- 録音/録画
- 温度/加速度/ジャイロ
- GPS/コンパス

インターネット

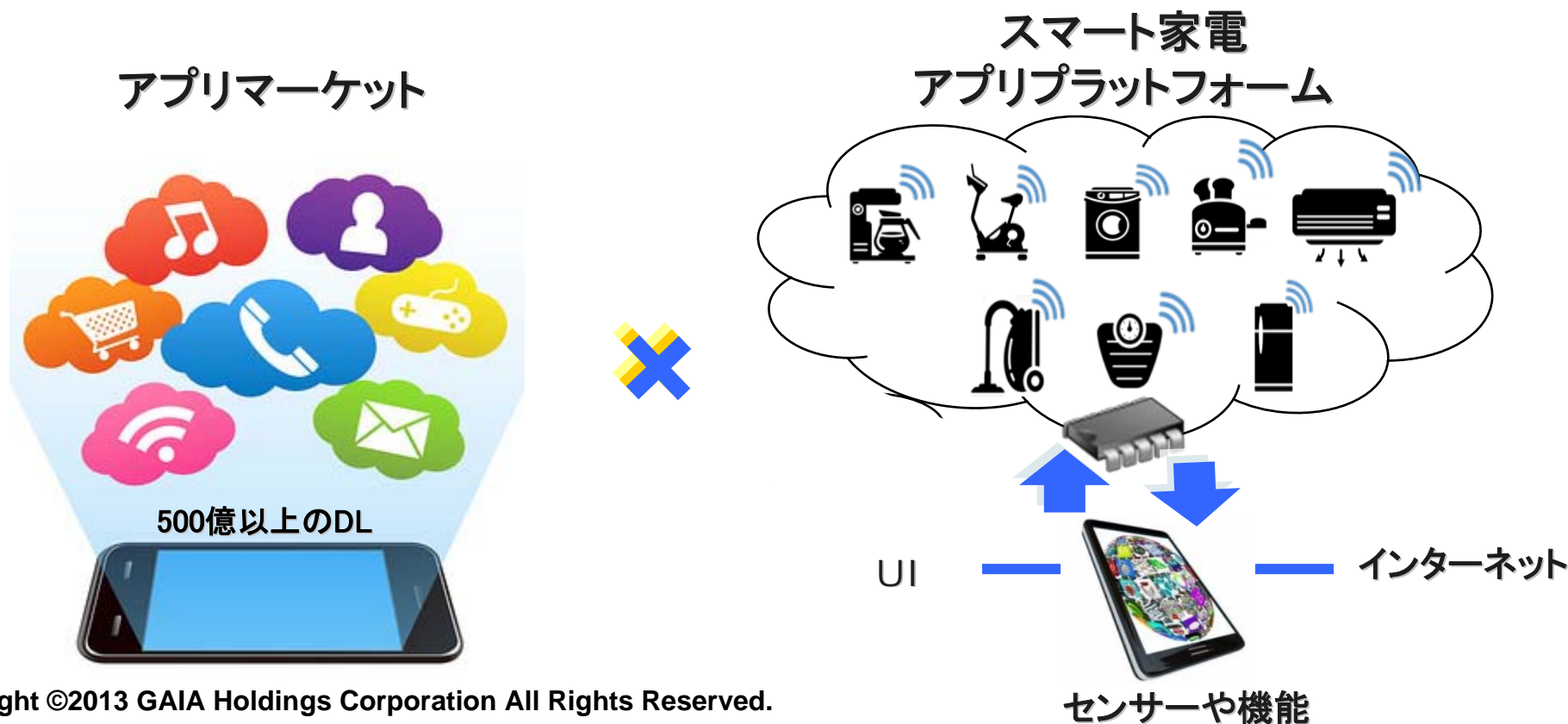
- 情報
- 共有/SNS
- 発信/メール/ブログ/twitter
- 記録/表示/ビッグデータ
- 情報処理
- 検索
- 課金

当事業年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果

新しいサービスを提供する巨大市場を創出

アプリマーケットとスマート家電プラットフォームが
真の価値を生み出す新プラットフォーム



当事業年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果

コンテンツ・サービス等事業：ゲーム

- 携帯電話公式サイト向け国内最大規模のコンテンツ・サービスの企画・開発・配信



© G-mode

- SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）向け多彩なジャンルのソーシャルアプリの企画・開発・配信



© G-mode



当事業年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果

コンテンツ・サービス等事業：アニメーション

- TVや劇場版アニメーションの企画・制作・提供

- アニメをコアとしたマルチメディア・コンテンツの企画・制作



© 2013 平坂読・メディアファクトリー
製作委員会は友達が少ないNEXT



©ENTERBRAIN, INC./
アマガミSS+製作委員会

当事業年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果

多角的な総合エンターテインメントの提供

当社グループで制作したコミックやゲーム等を基盤とした**総合エンターテインメント**の提供

コミック



© G-mode

ゲーム



アニメーション



小説



グッズ

「ソフトウェア技術」
を駆使した
メディアミックス展開へ

「コミック」や「ゲーム」を基盤に

継続的かつ複合的な利益確保

当連結会計年度の経営成績

① 事業の経過及び成果

携帯電話市場の動向

- 国内携帯電話契約加入台数が1億2,912万台(前年同月比106.1%)と増加傾向
- スマートフォンが携帯電話市場全体を牽引
- スマートフォンへの移行はグローバルに進行



当連結会計年度の経営成績

① 事業の経過及び成果

エンターテインメント市場の動向

- モバイル端末向けゲーム市場が成長を続けているものの、ソーシャルゲームやスマートフォン向けゲームの占める割合が増加
- 携帯端末・PC・テレビ等への映像配信サービスやブルーレイ、SNS等の新たなメディアが拡大
- エンターテインメント市場の成長が見込まれる新たな分野やビジネスが登場

当連結会計年度の経営成績

① 事業の経過及び成果 [ソフトウェア基盤技術事業]

国内市場の事業概況

- スマートフォン向け製品において、第3四半期までの傾向を維持し堅調に推移
- フィーチャーフォン向け製品の売上は、一時的に下げ止まり、第3四半期から微増

当連結会計年度の経営成績

① 事業の経過及び成果 [ソフトウェア基盤技術事業]

海外市場の事業概況

- 中国市場においてスマートフォンの出荷台数がフィーチャーフォンの出荷台数を超える等、海外市場においてもスマートフォンへの移行が進行
- Samsung、Motorola Mobility Inc.、Huawei Technologies Co., Ltd.等の大手携帯電話端末メーカーのフィーチャーフォンへの搭載数等、海外市場での「JBlend」搭載数は減少傾向

当連結会計年度の経営成績

① 事業の経過及び成果 [ソフトウェア基盤技術事業]

新たなM2M事業の展開

重厚長大型のものに限らず
日常生活にあるあらゆるものがターゲット



当連結会計年度の経営成績

① 事業の経過及び成果

[ソフトウェア基盤技術事業]

M2M市場向け通信モジュールの披露

あらゆる機器をスマートフォンにつなぐ「**JM1**」と
ネットにつなげる「**UD1**」



ワイヤレスジャパン2012でのアプリックスブース

IT系大型展示会にM2M製品を出展し、
数多くの動体デモンストレーションで
活用事例を披露

さまざまな業界の機器
メーカー、アプリベンダー
及び数々のメディアから
多くの反響を獲得



CEATEC JAPAN 2012でのアプリックスブース

当連結会計年度の経営成績

① 事業の経過及び成果 [ソフトウェア基盤技術事業]

M2M市場向け通信モジュールの提供開始

- Bluetooth Low Energy規格に対応した低消費電力型で小指先大サイズの超小型モジュール「JM1L2」を開発、2013年2月から供給を開始することを発表
- JM1製品群を始めとする本事業を中核基盤事業に据えさらなる急速な拡大が見込めるM2M及びスマートフォン市場に向けて、競争力のある製品を市場にいち早く投入

当連結会計年度の経営成績

① 事業の経過及び成果

[ソフトウェア基盤技術事業]

業績

- 売上高： 2,391百万円
- 営業損失： 1,498百万円

当連結会計年度の経営成績

① 事業の経過及び成果 [コンテンツ・サービス等事業]

[ゲーム]の事業概況

■ スマートフォン市場向けコンテンツの拡充

- ソーシャルゲーム市場における顧客基盤の強化拡大を目指し、人気の「天空のスカイガレオン」続編の開発推進



©G-mode



©G-mode



©G-mode

当連結会計年度の経営成績

① 事業の経過及び成果 [コンテンツ・サービス等事業]

[アニメーション]の事業概況

- 「ペルソナ4」「アマガミSS+ plus」「人類は衰退しました」「あっちこっち」「生徒会の一存Lv.2」等の受託制作



©ENTERBRAIN, INC./
アマガミSS+製作委員会



©Index Corporation/
「ペルソナ4」アニメーション製作委員会

- 「ストライクウィッチーズ劇場版」や「ペルソナ4」等の著作権収入が売上に貢献

当連結会計年度の経営成績

① 事業の経過及び成果 [コンテンツ・サービス等事業]

業績

- 売上高： 5,107百万円
- 営業損失： 685百万円

当事業年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果

当連結会計年度の業績

■ 売上高	7,499百万円
■ 営業損失	2,463百万円
■ 経常損失	2,466百万円
■ 当期純損失	3,371百万円

当事業年度の事業の状況

- ② 設備投資の状況
- ③ 資金調達の状況
- ④ 事業の譲渡、吸収分割又は新設分割の状況

招集ご通知の
8ページをご参照ください

当事業年度の事業の状況

- ⑤ 他の会社の事業の譲受けの状況
- ⑥ 吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況
- ⑦ 他の会社の株式その他の持分又は新株予約権等の取得又は処分の状況

**招集ご通知の
9ページをご参照ください**

- (2) 直前3事業年度の財産及び
損益の状況**
- (3) 重要な親会社及び子会社の状況**
- (4) 企業集団の対処すべき課題**
- (5) 主要な事業内容**

**招集ご通知の
10～13ページをご参照ください**

- (6) 主要な事業所**
- (7) 使用人の状況**
- (8) 主要な借入先の状況**
- (9) その他企業集団の現況に関する
重要な事項**

**招集ご通知の
14ページをご参照ください**

2. 会社の現況

- (1) 株式の状況**
- (2) 新株予約権等の状況**
- (3) 会社役員 の 状況**
- (4) 会計監査人の状況**
- (5) 業務の適正を確保するための
体制**

**招集ご通知の
15～23ページをご参照ください**

2. 会社の現況

(6) 剰余金の配当等の決定に関する方針

剰余金の配当等の決定に関する方針

- **企業価値の向上と、株主の皆様への利益還元が重要課題**
- **剰余金を確保することで、中長期的な視点で当社株式を保有していただいている株主の皆様へ、継続的な配当を実現できるようにしていく**
- **配当とのバランスを勘案しつつ、将来にわたる株主利益確保のために内部留保を有効に役立てていく**

(7) 会社の支配に関する基本方針

**招集ご通知の
23ページをご参照ください**

貸借対照表・損益計算書

連結貸借対照表

資産合計 12,580百万円

純資産合計 10,308百万円

招集ご通知の24ページをご参照ください

売上高	7,499百万円
営業損失	2,463百万円
経常損失	2,466百万円
当期純損失	3,371百万円

招集ご通知の25ページをご参照ください

資産合計 **10,833百万円**

純資産合計 **9,859百万円**

招集ご通知の40ページをご参照ください

売上高	2,295百万円
営業損失	1,783百万円
経常損失	2,197百万円
当期純損失	3,114百万円

招集ご通知の41ページをご参照ください

監査報告

独立監査人の監査報告

招集ご通知の48～49ページをご参照ください

監査役会の監査報告

招集ご通知の50～51ページをご参照ください

決議事項

議案内容のご説明

定款一部変更の件

招集ご通知**52**ページの
参考書類をご参照ください

決議事項 第2号議案

取締役9名 選任の件

招集ご通知

53～62ページの
参考書類をご参照ください

取締役候補者

- 1 郡山 龍
- 2 鈴木 智也
- 3 房 達 章
- 4 伊 藤 洋
- 5 三 浦 亨
- 6 詹 兆 源
- 7 岡田 朋之
- 8 直 井 徹
- 9 黒崎 守峰

決議事項 第2号議案

取締役 房 達章からのコメント

皆様、こんにちは。

ガイアホールディングスグループ、iaSolutionの房 達章(ファン ターチャン)と申します。

世界経済および市場環境が劇的に変遷する中、前年度の海外地域の事業開発は、満足のものではありませんでした。しかしながら、M2M関連分野及び総合エンターテインメント分野における当社グループの強みをもって再起することを確認しております。

ガイアホールディングス取締役候補に選任されたことを光栄に思います。みなさまのご支援のもと、障害を乗り越えグローバルな企業成長のために邁進する所存です。

決議事項 第2号議案

取締役 詹 兆源からのコメント

皆様、こんにちは。

私は詹 兆源(チャン チャオユエン)と申します。2000年に創設者の一人としてiaSolutionに参画し、2004年iaSolutionがガイアホールディングスグループ傘下となるまでJava VMビジネスを担当しておりました。

現在は、弊社が開発したM2Mモジュールを、ブランドメーカーやODM企業へ展開することを中心として、主に中華圏内向けの戦略構想に取り組んでいます。

皆様のご支援のもと、最善を尽くし、強い意思をもってガイアホールディングスに貢献して参ります。

決議事項 第3号議案

補欠取締役1名 選任の件

補欠取締役候補者
太田 洋

招集ご通知

63～64ページの
参考書類をご参照ください

決議事項 第4号議案

**監査役1名
選任の件**

**監査役候補者
野間 幹晴**

**招集ご通知
65ページの
参考書類をご参照ください**

補欠監査役1名 選任の件

補欠監査役候補者
新田 喜男

招集ご通知

66ページの
参考書類をご参照ください

現任 監査役

根本 忍

長橋 賢吾

第28回定時株主総会 閉会

ガイアホールディングス株式会社

ありがとうございました